

# 都市再生整備計画 事後評価シート

おおぬま  
大沼地区

平成24年3月

ななえちょう  
北海道七飯町



様式2-1 評価結果のまとめ

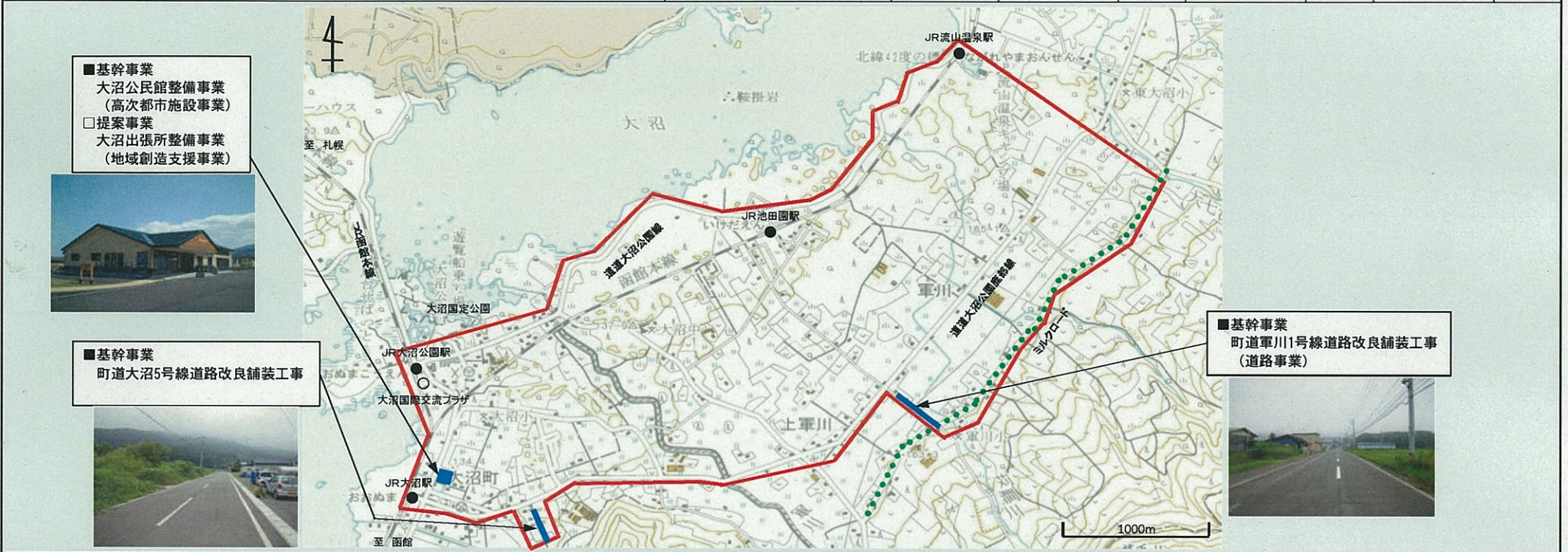
都道府県名	北海道		市町村名	七飯町		地区名	大沼地区			面積	960ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	233百万円	国費率	40.0%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路事業(町道軍川1号線、町道大沼5号線)、高次都市施設事業(大沼公民館)									
			提案事業	地域創造支援事業(七飯町役場大沼出張所整備事業)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	-		-			-				
	新たに追加した事業		基幹事業	-		-			-				
			提案事業	-		-			-				
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-		-			-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	観光客入込数減少率	%	3.5	H17	0.0	H23	モニタリング	評価値	31.6	×	ありなし ●	平成24年8月
	指標2	観光宿泊客減少率	%	37.6	H17	0.0	H23		56.5	×	ありなし ●	平成24年8月	
	指標3	宿泊施設数減少率	%	6.7	H17	0.0	H23		7.1	△	ありなし ●	平成24年8月	
	指標4	大沼公民館利用者数	人	2,333	H17	2,400	H23		4,372	○	ありなし	平成24年8月	
	指標5										ありなし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	その他の観光関連施設増減数	軒	0	H17				3			宿泊施設以外の観光関連施設は若干増加しており、道路整備による移動利便性向上に伴う観光振興及び滞在型観光の促進が図られている。	平成24年8月
	その他の数値指標2	新規宿泊施設数	軒	0	H18				3			全体として宿泊施設数は減少しているが、新規開設数は増加しており、道路整備による移動利便性向上に伴う滞在型観光振興の促進が図られている。	平成24年8月
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画により整備した町道軍川1号線は地域住民の生活道路でありほか、近隣に小学校があるため子どもたちの通学路になっており、歩道を整備したことにより整備前より飛躍的に安全性が高まっている。</li> <li>本計画により整備した大沼公民館は七飯町役場大沼出張所と合築しており、地域住民からは利便性が向上したと好評価を頂いている。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	当該計画で整備する大沼公民館及び七飯町役場出張所の建築にあたって、地域からの要望を取り入れた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も地域住民の意見を聞いて、施設のより一層の利用促進と有効活用を図っていく。					
持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						



## 様式2-2 地区の概要

大沼地区(北海道七飯町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 国定公園を有する大沼地区を賑わいのある観光地として再生を図る。 目標1: 道路整備により、移動の利便性を向上させ、観光客やイベント参加者の増加を図る。 目標2: 宿泊施設の減少を抑えるとともに、滞在型観光を目指す。 目標3: 観光地としての賑わいを再生するため、地区に活気を取り戻す。	観光客入込数減少率	単位: %	3.5 H17	0.0 H23	31.6 H23
	観光宿泊客減少率	単位: %	37.6 H17	0.0 H23	56.5 H23
	宿泊施設数減少率	単位: %	6.7 H17	0.0 H23	7.1 H23
	大沼公民館利用者数	単位: 人	2,333 H17	2,400 H23	4,372 H23



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区内外に点在する観光スポット間の移動利便性が向上することにより、地区内の観光客の流動性が高まるなど観光地としての魅力が向上し、観光客の誘致が促進された。</li> <li>地域住民が中心である大沼公民館利用者の増加により、大沼地区内の交流人口も増加し、地域の活性化が図られている。</li> <li>大沼国定公園全体における一層の観光客誘致効果の創出や、経済効果が宿泊施設に大きく波及するような滞在型観光への移行、また、発生した地域活性化効果を効率的に観光振興へ繋げていくことが残された課題であり、既存道路の観光ルート化による交通安全対策も新たな課題として生じている。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光入込客数増加のために、今後も観光パンフレットや観光ルートマップ等による情報発信を継続して行っていく。また、地域活性化を観光振興につなげるため、地域住民主体のまちづくり活動に対して行政が支援を行っていく。</li> <li>広範囲な分野におけるリピーター客の増加と新規観光客の誘致を行ない、大沼国定公園全体の観光入込客数の増加を目指すとともに、付加価値を高めた観光メニューや、七飯町ならではの魅力ある観光地づくりを推進する。</li> </ul>